

テーマ
つながるしるし

theme
Connecting Sign

審査員

中村 勇吾 Yugo NAKAMURA

原 研哉 Kenya HARA

深澤 直人 Naoto FUKASAWA

三澤 遥 Haruka MISAWA

ゲスト審査員

大西 麻貴 Maki ONISHI

18th

SHACHIHATA

New Product Design Competition

シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション

応募受付期間

2025年4月1日|火|——5月30日|金|12:00

これとあれ、こことあそこ、わたしとあなた。なにかとなにかがつながるとき、だれも想像しなかった新しい世界が見えるかもしれません。今回のテーマは「つながるしるし」です。これまでにない「つながり」を生むしるしとはなんでしょうか。人々が使うなかでつながり、ときに連なり、あるいは交差したり、共鳴したりしながら、広がりを持つような提案をしてお待ちしています。

主催 | 一般社団法人未来ものづくり振興会 特別協賛 | シヤチハタ株式会社

審査員



中村 勇吾 Yugo NAKAMURA

インターフェースデザイナー、tha Ltd. 代表

自分の中でなにかとなにかが新しくつながった、その瞬間の思いを人は「うつくしい」「おもしろい」などと呼んでいるのではないのでしょうか。「つながる」にはそれほど普遍的な意味が含まれているように思います。あなたのデザインを経験する人の中で、まったく新しいつながりが、つまり感動が生まれるような作品を期待しています。



原 研哉 Kenya HARA

グラフィックデザイナー、日本デザインセンター 代表

「分かれてつながる、離れてあつまる」というテーマで、家の展覧会を企画したことがある。今やお祖父さんお祖母さんと一緒に暮らす直系家族は激減し、世帯の中心は核家族ですらなくなり、ひとり暮らしが主流となった。一方で、新たなメディアがネットを介して人と人の新しいつながりを生み出し始めている。分断されきった個 (Individual) を再びつなげていくのは、どんな着想であり、どんなデザインだろうか。



深澤 直人 Naoto FUKASAWA

プロダクトデザイナー、NAOTO FUKASAWA DESIGN 代表

つながりがある世の中で、私たちは本当のつながりをどれだけ感じているのでしょうか。本当のつながりとは何か——その問いに向き合いながら、「しるし」の可能性を探ってみてください。今回のテーマでは、単に「しるし」だけでなく、「つながる」という感覚を大切に提案を求めています。身の回りの関係性を見つめ直し、つながるということの感覚を手繰り寄せて欲しいと思います。



三澤 遥 Haruka MISAWA

デザイナー、日本デザインセンター 三澤デザイン研究室 主宰

どこで、なにを、どうつなぐ？しりとりのような単純なつながりもあれば、一見ばらばらに点在していても別の視点からは一直線に並んで見えるようなつながりもあります。肉眼で見えないくらい小さなものと地球大のもの。未来と太古。油と水のように混じり合わない関係。遥か遠くにあるものや無縁そうに見えるもの間にこそ、まだ誰もかたちにしたことのないつながりが眠っているかもしれません。

ゲスト審査員



大西 麻貴 Maki ONISHI

建築家、大西麻貴+百田有希 / o+h 共同主宰

何かと何かがつながるとは、両者の間に関係を見出すことだと思います。何かと何か、とは、あなたと私、のこともあるし、モノ同士のこと、私たちとそれを取り巻く環境とを指すこともあるでしょう。また、同じ時間と空間のなかで生まれる関係も、それらを越えていく関係もあるでしょう。私たちを取り巻くたくさんの「何か」から新たな関係を見出し、それに気がつかせてくれる「つながるしるし」を期待します。

特別審査員



舟橋 正剛 Masayoshi FUNAHASHI

一般社団法人未来ものづくり振興会 代表理事
シヤチハタ株式会社 代表取締役社長

歴史の中で受け継ぎ守ってきたものがあります。伝統とは革新の積み重ねとも言われますが、それは未来に向け、過去と現在がつながりながら生み出してきたるのではないのでしょうか。つながることによって何か新しいことが始まる。つながるしるしは、もののデザインにとどまらず、仕組みのデザイン、情報のデザインであってもいい。まだ見ぬしるしとつながることを期待します。

応募概要

応募受付期間

2025年4月1日|火|—5月30日|金|12:00

テーマ

つながるしるし

「しるし」が持つ可能性を広げるプロダクトもしくは、仕組みをご提案ください。なお、応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。

応募資格

- 企業、団体あるいは個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍は不問。ただし、日本語でのコミュニケーションが可能であること。
- 1次審査を通過した場合、2025年8月29日|金|までに模型製作が可能であること。
- 入賞した場合、2025年10月10日|金|18:00(予定)から東京で行われる表彰式に参加できること。

※1人または、1グループで複数作品の応募が可能です。ただし、事前エントリーは1応募につき、1エントリーをお願いします。

賞

グランプリ 1作品(賞金300万円)
準グランプリ 2作品(賞金50万円)
審査員賞 5作品(賞金20万円)
特別審査員賞 1作品(賞金20万円)

- 全ての受賞作は、商品化を検討いたします。
- 全ての受賞作は、公式サイトで公開されます。

一次審査提出物

プレゼンシート

提出形態: A3サイズのPDF1枚(容量10MB以内)

必須項目: エントリー番号、作品名、作品の一般名称、コンセプト(300文字以内)、作品イメージ(写真、CG、イラスト、図面など)

審査基準

- テーマの理解力: テーマの意図を理解し「しるし」文化の進化につながる提案かどうか
- 新規性・革新性: 時代のニーズを捉えた提案かどうか
- 提案の実現性: 具体的に実現性まで考えられたデザインや仕組みで、実制作や商品化が可能かどうか

応募方法

公式サイト(<https://sndc.design>)で応募を受け付けます。

応募フォームよりWebエントリー後、プレゼンシートを投稿いただけます。

詳細はサイト上でご確認ください。なお応募は無料です。

スケジュール

1次審査通過連絡

7月中旬予定

模型提出

8月29日|金|締切

※模型製作費として補助金1万円(税込)をお支払いいたします

最終審査

9月5日|金|予定

表彰式

10月10日|金|18:00~予定

詳細は公式サイトをご確認ください。 <https://sndc.design>

お問合わせ

シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション事務局
sndc2025@japandesign.ne.jp

報道関係者からのお問合わせ

シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティションPR事務局(インシャル内)
sndc@vectorinc.co.jp